

事例 2

夜間の避難訓練の実施

夜間の避難訓練

【訓練概要】

大阪府和泉市外4市町では、昨年8月、広島市で夜間に発生した土砂災害を教訓として、府域の土砂災害危険箇所などにおける夜間の集中豪雨を想定して、避難訓練を実施した。夜間の住民避難に関する課題を抽出し、更なる防災力の向上に向けた取り組みを行っている。

- 1) 実施日
平成27年6月20日
- 2) 実施地区名
大阪府和泉市南横山校区ほか
- 3) 実施地区数
和泉市南横山校区外11地区
- 4) 参加人数
383名
- 5) 参加機関
消防団、駐在所、当該市町の地域住民
- 6) 実施訓練内容
ハザードマップ等を活用した夜間避難訓練
- 7) 工夫した点
 - ・ 昨年の広島土砂災害が夜間にあったことを受けて、夜間に避難訓練を実施



住民等による夜間避難訓練
(大阪府和泉市)



住民等による夜間避難訓練
(大阪府河内町)



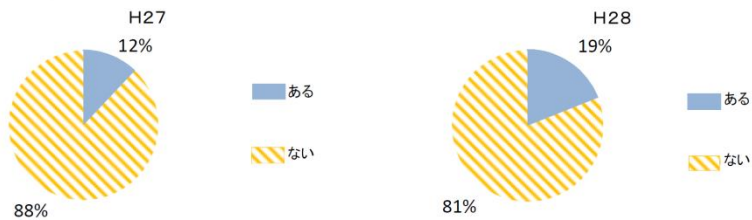
住民等による夜間避難訓練
(大阪府岸和田市)



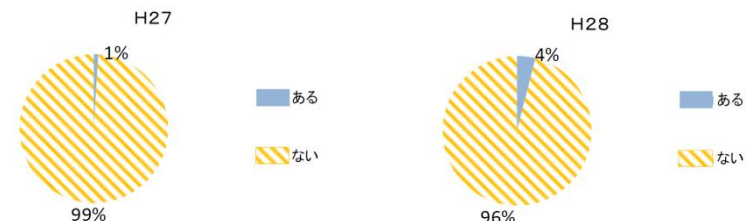
要配慮者利用施設内の夜間垂直避難訓練
(H28 大阪府泉大津)

問1：今回の夜間訓練についてお聞きます。

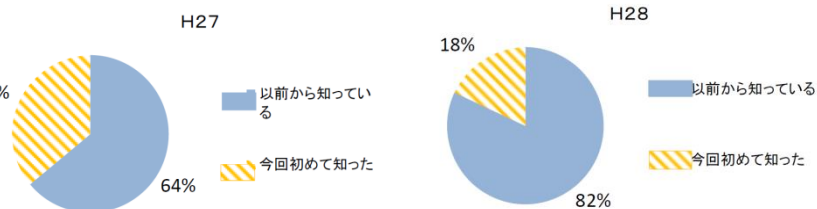
1-① これまで、大雨や土砂災害を想定した避難訓練に参加したことはありますか。



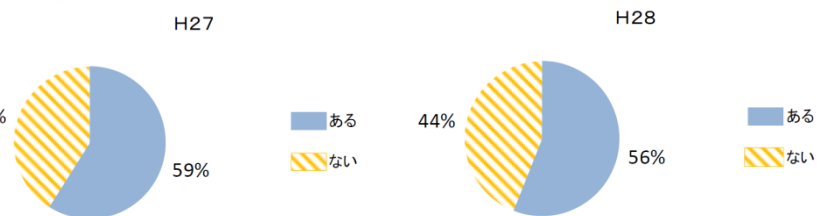
1-② 夜間の避難訓練に参加したことはありますか。



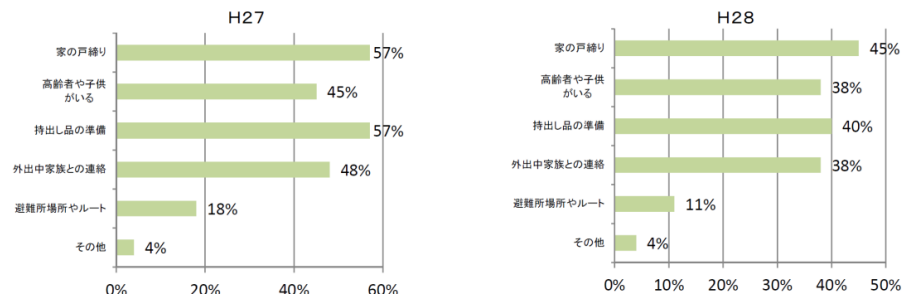
3-① 避難所は知っていましたか。



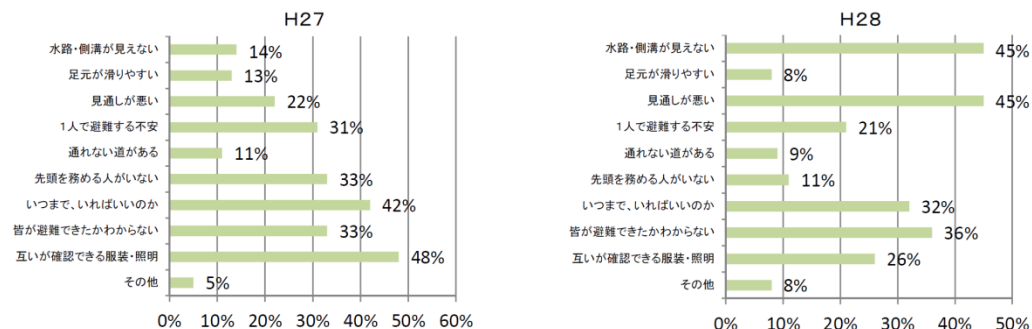
3-② 市が発行している防災マップなどで危険箇所などを、これまで確認したことはありますか。



2-③ 今回の避難訓練に参加してみて、実際に避難勧告が発令されて避難する際、どんなことに時間が掛かるとお思いますか。(複数回答可)



2-④ 実際に夜間に避難してみて、どのような問題点に気づかれましたか。(複数回答可)



H27,28は異なる地区。

訓練参加住民（水平避難）

H27 165名,H28 53名

<効果検証>

- ・避難訓練の参加者は15%前後
- ・避難所の認知は60~80%
- ・マップでの危険箇所の確認は60%程度
- ◆避難所までの時間がかかる、準備に時間がかかる。
- ◆夜間の避難の難しさを認識